

公益社団法人 日本介護福祉士養成施設協会
令和5年度 全国教職員研修会

大会委員長 鈴木 利定

開催要綱 〔第一報〕

【開催趣旨】

現在、国内多くの介護福祉士養成施設が、ひいては介護福祉士養成施設協会そのものが存続の危機に直面しているという事実には異論の余地はないでしょう。

かつて2万人が在籍していた学生数はおよそ7千人にまで減少し、定員充足率の低下に歯止めがかからない状況が続いており、その事実は全国規模で進行する養成施設（課程）数の減少に直結しています。

その状況を少しでも緩和し学校運営を継続させるため、また、介護現場における人材不足解消の一助とするため、多くの養成施設にとって留学生の存在が欠かせなくなっており、全学生数の実に3分の1を留学生が占めるといった現状もみられます。しかしながら、日本市場が外国人労働者にとって魅力を失いつつあるといわれる現状下においては、今後さらにその留学生の人材確保も困難になることが予想されます。

ではなぜ我々養成施設のもとに学生が集わなくなってしまったのでしょうか。

学生数減少の理由については複数要因が複雑に影響し合っていると考えられますが、少子高齢化が進展する我が国において、その国民生活の基盤を支えるという大きな社会的責任を担う国家資格である「介護福祉士」の資格取得ルートが複数存在する中、「費用」と「時間」を費やして養成施設で学ぶ「意義」そのものに揺らぎが出てしまっているという現実には多くの養成施設が共有する危機感なのではないでしょうか。

本研修会では、前年度に東海北陸ブロック会の皆様が提示してくださった「養成施設の持続的発展」という研修テーマを引き継ぐ形で、「養成施設で学ぶ意義」に再度焦点化します。

介護福祉士養成施設における教育は、その他資格取得ルートと何が違うのか。

その教育を受けることによって、専門職者としてどのような未来が開けていくのか。

そもそも我々養成施設が存在する「意義」はどこにあるのか。

本研修会を通してこのような問いへの答えを可能な限り言語化し、全国の教職員の皆様と共有することで、介護福祉士養成施設の未来につながる「希望」を展望したいと考えています。

【研修内容】

現在関東信越ブロック会では上記のような問題意識を共有し、学生募集など短期的に各養成施設に恵みをもたらす可能性がある経営・広報戦略に関する情報交換はもちろん、長期的な養成施設存続のために最も肝要であると考えられる「教育の価値の提示」に関する多方面からの議論を喚起するため、以下のような研修内容を検討、準備しているところです。

詳細が定まり次第、皆様に随時情報をお届けしてまいりますので、ぜひ奮っての参加をご検討ください！！

【テーマ】

介護福祉士養成施設の存在意義の再検討
～介護福祉士の未来像を問う～

【日時】 令和5年10月27日（金）9：30～17：00

【開催方法】 オンライン（Zoom ミーティング）

【主催】 公益社団法人 日本介護福祉士養成施設協会

【主管】 日本介護福祉士養成施設協会 関東信越ブロック会

【後援】 調整中

※ この研修会は、競輪の補助を受けて開催します。

研修プログラム	
時間	内容
9：30～9：50	<p>【開会式】</p> <p>主催者挨拶 日本介護福祉士養成施設協会 会長 澤田 豊</p> <p>大会長挨拶 関東信越ブロック会 会長 群馬医療福祉大学短期大学 学長 鈴木 利定</p> <p>実行委員長挨拶 東京部会 議長 淑徳大学短期大学部 木田 茂樹</p>
9：50～10：20	<p>【厚生労働省報告】</p> <p>演題・講師 調整中</p>
10：30～12：00	<p>【基調講演】</p> <p>「介護福祉士養成施設の存在意義の再検討」 講師：黒澤 貞夫 先生</p>
12：00～13：00	昼休憩
13：00～14：45	<p>【シンポジウム】</p> <p>テーマ：「養成施設における教育が育む介護福祉士の可能性」 キーワード：教育理念の明確化、養成教育の価値の再確認、その他の資格取得ルートとの差別化、管理介護福祉士の今後の展望</p>
15：00～16：40	<p>【分科会】</p> <p>第1分科会：留学生教育の実際 ○留学生の国家試験対策だけではなく、その受け入れ体制や留学生ならではの教育の具体例を紹介し合う場にしたいと考えています。</p> <p>第2分科会：ICT教育が育む介護の未来像 ○近年介護現場でICT技術の導入が進む中、養成校としてもこれを前提とした教育を実践することが必須となってきています。 最新技術の紹介に留まらず、我々が共有したい教育理念と技術をいかに連動していくのかという視点を加味した議論を展開したいと考えています。</p> <p>第3分科会：養成施設の生き残り戦略 ○経営戦略に独自のノウハウを有する養成施設の実践例を紹介し合い、学生獲得につながる広報活動などのヒントを見いだす場にしたいと考えています。</p>
16：45～	<p>【閉会式】</p> <p>閉会挨拶 次期開催地挨拶</p>